

# 兵庫県東播磨地域小学・中学・高校における 花粉症に伴う口腔アレルギー症候群および 食物依存性運動誘発性アナフィラキシー疫学調査

出典	Journal of Environmental Dermatology and Cutaneous Allergology (1882-0123) 1 巻 2 号 Page102-108 (2007. 07) ( <a href="http://search.jamas.or.jp/link/ui/2008116580">http://search.jamas.or.jp/link/ui/2008116580</a> )
著者	足立厚子 他
調査地域	兵庫県
調査時期	2003 年
調査対象	小学生 (6~12 歳) 中学生 (12~15 歳) 高校生 (15~18 歳)
有効回答数 有効回答率	小学生 : 25171 人、中学生 : 12881 人、高校生 : 8567 人 97.5%
診断方法	教員の申告
有症率	OAS : 0.11% FDEIA : 0.07%
調査概要	兵庫県東播磨地域の小学・中学・高校生を対象に OAS、FDEIA を調査した論文。 OAS は年少児ではキウイが多く、FDEIA は小学生ではエビ・ソバ・ナッツ、 中学・高校生では小麦・エビが多かった。